



—東北生産性本部—

日本アカデメイア創設

～いま日本に必要なのは人材の結集～

日本生産性本部は、日本アカデメイアを立ち上げ、3月24日、野田総理との第一回交流会を開催し、3月26日には官僚との交流会と、具体的に動き出した。（*アカデメイアとは、紀元前387年古代ギリシャのアテナイにプラトンが創設し、古代世界最大の名声を誇った学校の一つである。）

日本の現状は、人口減少を伴う少子高齢社会、労働形態の多様化による格差社会、長引くデフレ不況下、GDP比150%程度に膨れ上がった債務などなど、多くの課題を抱えながらも、全てを司る政治が制度疲労を起こし、先行きの不透明感が際立っている。

国を揺るがす課題を目前にして、与党も野党もコップの中の論議に終始をしている。与党の反対派に増税であるから決められないというが、問題の先送りにしか見えない。拘るべきは本来的な増税と年金引き下げのセット論かもしれない。大衆迎合政治は国を滅ぼす。国政というハンドルを握るトップリーダーが猫の目のように代わり、国政のエンジンとなる官僚が委縮している現状からは、国民が求めている社会には到底たどり着けない。

こうした現状を憂いて、公共人材の育成と、総合力発揮のために有識者が立ちあがった国家プロジェクトと言っても過言ではない。正に希有な壮大な活動である。

企画立案を担う運営幹事会は、茂木友三郎（キックマン会長）、佐々木毅（学習院大学教授）、曾根泰教（慶應義塾大学教授）、細谷英二（りそなホールディングス会長）、増田寛也（東京大学大学院客員教授）であり、日本アカデメイアは、次のことを目的としている。

- ①日本の将来を担う公共人材を支えるために活動します。
- ②日本社会の各分野の知恵や経験、人材を結集します。
- ③与野党の政治家、官僚と各界をつなぎ直します。
- ④グローバル時代における政府や政治の発信力を高めます。
- ⑤政府や政治の人的・知的・制度的基盤を立て直します。
- ⑥私たちは、3年間集中的に活動します。

活動資金は寄付で賄い、日本生産性本部が事務局を担うこととなった。これは生産性本部が労使学の構成実態であり、幅広い活動を期待されている。三年後と言わず、早い段階で停滞という霧が晴れることを切に願う。

4月・5月の行事日程

1. 第5回会長・副会長会議

- ・日時 平成24年4月24日（火）11時より
- ・場所 仙台商工会議所会館 4階食堂
- ・議事 平成23年度事業報告・決算、平成24年度事業計画（案）・予算（案）他

2. 第2回会計監査

- ・日時 平成24年5月9日（水）14時より
- ・場所 仙台商工会議所会館 7階事務室
- ・監査 平成23年度収支計算書他

3. 第153回理事会

- ・日時 平成24年5月17日（木）15時より
- ・場所 仙台商工会議所会館 1階会議室
- ・議事 平成23年度事業報告・決算、平成24年度事業計画（案）・予算（案）他

4. 第55回通常会員総会（*終了後 特別講演開催）

- ・日時 平成24年5月25日（金）13時半より
- ・場所 仙台商工会議所会館 7階大会議室
- ・議事 平成23年度事業報告・決算、平成24年度事業計画（案）・予算（案）他

第一義 ～広島に親近感、日本三景・牡蠣・放射線～

広島といえば、世界遺産となっている原爆ドームと厳島神社、そしてお好み焼きや牡蠣を思い出す。原爆と原子力発電は大きく異なるが、広島に親近感を覚えた。★3月の下旬、桜の蕾みが膨らんできた日本三景の一つ、そして世界遺産となった安芸の宮島に足を運んだ。広島は被爆から66年が経過している。その日は肌寒くコートが離せない平日であったが、観光客が次々と栈橋を渡り、宮島に着く者、宮島から離れる者で賑わっていた。会話から韓国や中国の人は思ったより少なく、春休みもあつてか国内の親子連れの観光客が目立っていた。NHKの大河ドラマ平清盛において舞台が朱色の大鳥居、厳島神社となれば、もっと賑わうように思う。★その一方で、東北地方は、大震災や放射線の影響を受けて、被災三県に止まらず東北地方の観光客は激減している。その中でも世界遺産効果で平泉は一人勝ち、日本三景の松島は、まだ良い方で、最近では観光客が戻っているようである。★宮島で今旬な焼き牡蠣を食した。三個で四百円から六百円、美味であった。以前は牡蠣の稚貝の多くは宮城県産だったと聞く、その繋がりに思いを馳せながら、宮島のような賑わいが、松島、いやいや東北全体に速く戻ることを、厳島神社の三女神にお祈りした。（記S・S）